

令和元年度 1 月教育委員会 会議録

開催日時	令和2年1月17日（金） 11:30～13:30	
開催場所	早島幼稚園 遊戯室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、栗坂祐子委員 綾野克紀委員
	事務局	黒木克美生涯学習課長、貝畑和明学校教育課長、猪木浩二課長補佐 石原知子主幹
会議次第	1 開会 教育長あいさつ 2 議事・報告案件 (1) 早島幼稚園の参観と給食について (2) 第2回学校評価アンケート集計結果について (3) 来年度の予定について 3 連絡	
会議資料		
傍聴者	なし	
会議録作成者	石原 知子	

会議内容

<p>1 開会</p> <p>教育長あいさつ</p> <p>教育長：本日より来年度予算に向けての査定が始まった。昨日、教育長等を対象に、京都でのGIGAスクール構想についての説明会があり参加した。全国から多くの関係者が集まったが、午後からは滋賀県草津市にバスで行き、ICTを活用した授業を参観するコースであった。国のGIGAスクール構想として、急遽11月に児童生徒一人一台の端末導入が方向付けられ、急ピッチで来年度に向けて予算措置等が提案された。国の補助がつくので、早速本町でも予算を付けていく方向で整備計画や授業づくりを検討したい。町では、iPad等の端末はあっても、ネットワークの容量に課題があり、早急に大容量のネットワーク環境を整えていくことが急務である。来年度は、重点施策として、授業改善に向けたICT教育の推進を図っていきたい。</p> <p>2 議事・報告案件</p> <p>(1) 早島幼稚園での参観と給食についての感想・意見</p>
--

栗坂委員：5歳児の発達段階として、自分たちで配膳を行い、時間を守って食べる様子を見て驚いた。ルーティーンが子どもたちに身に付いていて、整然と給食時間を過ごしている様子がよくわかった。子どもたちと一緒に食べているとき、子どもたちが給食時間に何をするか、いろいろなことを話してくれてしっかりしていると感じた。

教育長：保護者からは、「家庭では、あまり食べさせていない野菜を給食が始まったことで、よく食べるようになった。」という話を聞いており、給食導入は、食育の視点からも大変好評である。

大森委員：メニューが野菜の煮物等大人向けのように感じたが、子どもたちはしっかり食べることができていた。量もどれくらい食べられるかと思ったが、おかわりをして食べている子もいて、よく食べていると感じた。

教育長：幼い時に、野菜やいろいろな食材をしっかりかんで食べる習慣を身に付けることは大切だ。

綾野委員：先生方が、よく指導をしてくださっていた。何も言うことはない。

栗坂委員：子ども同士で、「〇〇ちゃんが全部食べられたよ。」など互いに声をかけていたのが印象的だった。

教育長：食育として、食べることの大切さを子どもたちにも引き続き体感させていきたい。参観を終えて他にご意見はよろしいか。

全委員：参観してよかった。

(2) 第2回学校評価アンケート集計結果について

教育長：アンケート結果については、「そう思う」と回答したA評価に注目して見ていただきたい。全体の結果を見て意見や質問を伺いたい。

中学校では、保護者アンケートに注目すると、「地域の大人は、子どもの手本となるようにルールを守っている」「地域行事に参加している」などの項目が低い割合となっている。全国的にも、小学校では若い教員が増えてきており、過渡期にある。授業改善が急務となっている。

綾野委員：教員に限らず、自分のことを中心に考える人が増えてきているように感じる。保護者と児童生徒の質問項目をそろえても良いのではないか。アンケート項目の精査が必要ではないか。

教育長：幼・小・中でそろえていた項目が少しずつ各校で変化しているようなので、再度見直しを図っていく。子どもたちが、「どちらかというと思う」のB評価を選択しているのは、子どもの優しさ、教師への配慮とも考えられるため、A評価が真の声だと考え、学校園にもA評価を見て分析するよう伝えている。幼稚園に、給食の項目が新たに必要であるなど、来年度に向けて項目を精査したい。

綾野委員：給食の項目はあった方がよい。

教育長：学校評価アンケートについては、来年度に向けて、項目を精査したい。学校評価アンケートについてはよろしいか。

全委員：了承した。

(3) 来年度の予定について

教育長：令和元年度施策の評価・点検の時期となっている。今年度の取り組みを踏まえて、来年度は、小学校高学年での教科担任制を取り入れていきたい。ICT教育の重点項目としては、校内LANの更新やプログラミング教育の充実、ICTを活用した授業づくりを行っていく。また、外国語活動では、オンライン英会話の活用や中学校英語授業でのコミュニケーション活動を通して、4技能をバランスよく育てていく。家庭教育力の向上として、「親育ち応援学習プログラム」のファシリテーター育成や家庭訪問チーム「すくすくハート」を立ち上げて活動をしており、更に来年度は活動に広がりをもたせたい。

栗坂委員：小学校の教科担任制では、従来国語・算数が重視されてきたように思うが、早島小学校では教科等をどのように考えているのか。

教育長：国語や算数は、高学年では専科教員での授業が必要だと考えている。働き方改革の面からも、クラスで授業交換するなど、教員の教材研究をする時間の短縮や工夫が必要だと感じている。特に、国語・算数・理科・英語は教科担任制が望ましく、専門性がある教員が教えることは教育効果があると、学力・学習調査にも顕著に結果として出ていると思う。小学校は、教員の授業時数等が平等でなければという考えが強いため、こうした意識の変容を進めたい。すべての教科を専科にすることは難しいが、できるだけ多くの教科からはじめていきたい。若い教員が増えてきており、チームで教えるという視点からも、各教員の専門性を活かすという点では、今後教科担任制が当たり前になっていくのではないかと、そうなってほしいと考えている。

栗坂委員：理科は、予備実験や安全面の配慮から専科が望ましい。

大森委員：義務教育学校に向けて、高学年からの担任制など小中の教育課程の方針を示すことが大切。

綾野委員：義務教育学校に向けて、地域の方に発信することも大切。たたき台としての絵が必要。今のままでは、町民に関心がない。

教育長：検討委員会の中でも、町民に向けて、分かりやすい提示の仕方を考えていく。令和2年度年間計画を見ていただきたい。小学校は、4月の家庭訪問を個人懇談に変更する予定。また、行事等についても精査を行っていきたい。来年度の予定等についてはよろしいか。

全委員 : 了承した。

3 連絡

教育長 : 1月25日(土)には、小学校参観日があり、小学6年生が「早島ふるさとソング～世界でただ一つの町～」を発表する。また、同日午後より子ども議会を行う。2月2日(日) マラソン 駅伝大会、2月5日(水) 幼稚園生活発表会(年中)、2月7日(金) 国研指定校研究発表会、2月12日(水) 早島町教育研究会(幼稚園)が行われる。時間があればぜひお越しいただきたい。

- ・ 2月教育委員会 2月21日(金) 15時～17時

早島町町民総合会館 2階 研修室